１学年　進路だより

第２号　平成２９年５月２４日発行

「基礎がわからない」と一言で言っても，どこまでがわかっていてどこからがわからないかによって対策は異なります。しかし，自分で今の学力を網羅的にチェックするのは大変ですよね。

そこで，スタディーサポートの特徴を生かした振り返りを行い，学力の土台を固めていきましょう。

１　スタディーサポートの特徴を生かした成績の見方

スタディーサポートの３つの特徴

１　**基礎のヌケモレ**がわかる　　・・・応用問題を解く基礎力

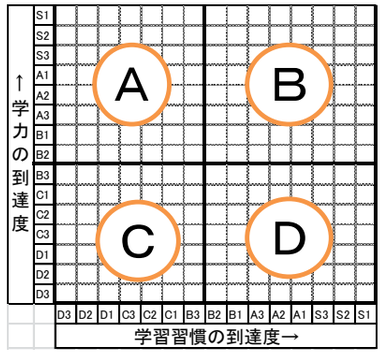
２　**ＧＴＺ**（学習到達ゾーン）が分かる　・・・全国レベルの学力の到達度

３　**学習の型**がわかる　　・・・学力を伸ばすための土台

スタディーサポートと進研模試はどう違うの？

スタディーサポート	進研模試
・〔目的〕 「**土台**」となる学力の定着を測ること 自分の**ヌケモレ箇所・苦手箇所**を正確に把握すること ・〔出題〕 各時期に押さえて欲しい**基礎的な問題を網羅的に**出題	・〔目的〕 志望校までの距離を正確に測ること ・〔出題〕 基礎・応用・発展

問題　下のマトリックスのＡ～Ｄのエリアにそれぞれ名前を付けるとしたら，次のどれ？



貯金食いつぶし型

　現在学力は高いが，高校生としての学習習慣が身についていないタイプ

現役合格型

　次回のスタディサポートでは，このタイプに入れるよう努力しよう

原石型

　「磨けば光るダイヤモンド」

貯金無し型

　ここに当てはまる者はただ努力あるのみ

９月のスタディサポートの成績を上げるために

１　教科・分野バランスが悪い所の強化

→具体的には，スタディーサポート「個人診断レポート」の後ろについている問題を解く

これは，一人一人の「基礎のヌケモレ」に合わせた**オーダーメイド**です

２　「貯金食いつぶし型」からの脱出

→自宅学習を平日２時間・休日３時間行う

自宅での学習開始時刻の定着

３　学習行動の改善

→授業の受け方や予習・復習・宿題の仕方の改善

２　全統模擬試験の意義

５月２７日（土）に，第１回全統模試（河合塾）を受験します。

全統模試は，進研模試に比べて，高い志望を持つ生徒が多く受験する模試です。高い進路目標をかなえるためには，他校の**ハイレベルの生徒達と対外試合**をすることを通して，全国における自分の位置を知ることが必要です。

試験範囲は，高校で今まで学習してきたことに加えて，中学校で習った学習内容も出ます。中間考査やスタディサポートでわかった弱点についても補強して受験しましょう。

上の問題の答

Ａ　貯金食いつぶし型　　Ｂ　現役合格型　　Ｃ　貯金無し型　　Ｄ　原石型